

ガイドライン素案の概要と御意見を伺いたい点（1～5）

頁	項目	概要	第3回会議（2020/12/14）からの主な修正点	御意見を伺いたい点
－	共通	ガイドライン全体を通じて伺いたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・体裁の統一 ・図を大きくできるものは大きくして見やすくした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容がこれで問題ないかどうか？ ・この構成で良いかどうか。分かりやすいかどうか？
1	1 はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・能勢町との連携の経緯 ・木材利用方針 ・ガイドラインの趣旨 	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすくするために、図を追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・他に補足すべき点はあるか？
2～10	2 木材利用を取り巻く状況と地域材の利用意義	<ul style="list-style-type: none"> ・木材利用をとりまく、国際・国内状況（パリ協定、SDGS、法改正、森林環境譲与税等） ・地域材の利用意義（森林現状、森林サイクル、木の良さ（健康、教育、環境等）） 	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすくするために、各所に図表・写真を追加 ・2（3）地域材利用について（p10）で地域材利用に言及（積極的に地域材利用を図る旨を打ち出すため）。 ・内部意見を踏まえ、2（2）構造材としての効果（p10）の内容を一部削除 	<ul style="list-style-type: none"> ・他に補足べき国際・国内状況はあるか？ ・他に補足べき利用意義があるか？
11～12	3 木造・木質化のターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・木造化、木質化のターゲットを提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議意見等を踏まえ、ターゲット施設の考え方を修正。（吹田市公共施設個別施設設計画との整合を図る、ターゲット施設の条件設定変更等） ・ターゲットリストについて、吹田市公共施設個別施設設計画との整合をとったものに修正 ・市有施設の分類と高さの分析については会議意見踏まえ、削除 ・コストが安いことを前面に出さない様な記載内容に修正 ・「（3）市有施設の分類ごとの傾向について」を参考資料に移した 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット設定の妥当性 ・図表の見せ方
13～24	4 木材を利用した公共建築物の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・木材を利用した公共建築物の整備に関するフローの提示 ・企画立案、設計発注、設計、工事発注、工事施工の各段階で具体的に留意すべき事項を記載 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の流れの図（図4-1、4-2等）については、市の施設整備の流れにあった内容にするよう、営繕部局と内容を調整中 ・内部意見を踏まえて、記載内容を適宜修正 ・（1）イ（p19）に能勢材調達に関する補足を追加 ・単価目安については、その単価より安くなるのが木造化や木質化の最低条件とされるおそれがあるので、削除 ・一部の図表は参考資料に移した。 ・（2）イ 入札参加要件（p20）については機械的に判断できるものが望ましいことから、「木造実績」等の客観的要件に修正 ・（5）イ 木材調達の管理（p25-26）に、トレーサビリティの確保方法の一例として、森林認証（SGEC、PEFC）を追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロー図が分かりやすいかどうか？ ・各段階の留意点としてあげている項目に不足は無いのか？
25	5 木材利用に係るコスト	<ul style="list-style-type: none"> ・事例によるコスト比較検討 ・木造建築物のコストを抑えるためのポイントを項目別に記載 	<ul style="list-style-type: none"> ・（2）の内容については、参考資料に移した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他に参考となるコスト比較事例があるか？ ・コストを抑えるためのポイントに不足は無いのか？

ガイドライン素案の概要と御意見を伺いたい点（6～10）

頁	項目	概要	御意見を伺いたい点	第3回会議（2020/12/14）からの主な修正点
26～32	6 地域材の調達について	・大阪府内産材、能勢町産材の流通ルート、産地証明方法、JAS認定工場、供給状況等について記載	・他に必要な情報があるか？	・外部意見を踏まえ、おおさか河内材の内容を修正
33～40	7 木材利用に係る維持管理	・木材を利用した公共建築物の維持管理上の留意点を、設計時の配慮・完成後のメンテナンスの観点から記載	・留意点について不足する項目があるか？ ・設計時とメンテナンス以外で留意すべきタイミングがあるか？	
41～59	8 木造化・木質化事例について	・最新技術を使用した事例、従来からある技術を工夫して活用した事例を記載	・事例に記載の項目としてこれで十分か。他にこういった項目（例：木材使用量等）も入れた方が良いといった意見はあるか？ ・他により良い事例があるか？	・「10参考資料」に入れていた木造化・木質化事例を集約
60～63	9 モデル施設事例	・モデル施設（北千里小学校跡地複合施設、北部消防庁舎等複合施設）の木材利用内容等について記載	・本事例に関して他に記載すべき内容があるか？	
64～113	10 参考資料	・本編に入れるには分量が多くなってしまふ様な、木材の基本知識、法令基準、規格・価格一覧、JAS認定工場リスト、木造化・木質化事例、補助制度一覧について記載	・他に盛り込むべき項目があるか？	・面積によるコスト比較の根拠としてp77～79に「（3）木造化しやすい規模について」を追加 ・（4）木造化・木質化のターゲットリスト（p80～88）として「3 木造・木質化のターゲット」に係るリストを追加 ・（6）規格・品質・製材価格（p92～94）について、内装材の規格を追加。前回会議の意見も踏まえ、設計側として必要な木材の規格をカバーしているかどうかを内部で確認中